

パブリックコメントにおける意見に対する考え方等について

意見の取扱区分

「A」… 修正（案を加筆・修正し、反映させるご意見）

「B」… 記載済（案に趣旨や考え方、取組等が既に記載されているご意見）

「C」… 参考（今後のこども施策に参考とさせていただきご意見）

「D」… 回答（質問、ご意見にお答えするもの）

「E」… その他（感想によりお答えしないもの）

※該当ページ及び取組No.は、パブリックコメント時に公開した内容です。

番号	該当ページ	取組	意見	意見の取扱区分	意見に対する考え方等	関係部署
1	P66	No.3-19 病児・病後児保育事業の実施	<p>「かとっこ」を設立する際に取られたアンケートでは、対象の保護者の方の6割以上の方が「必要だ」とか「利用したい」との回答だったと思います。全国的にもここ10年で病児保育を行う施設が2.6倍にも増えていますし、これからも需要は増えていきます。</p> <p>子ども家庭庁からの補助もあったりするかと思いますので、もう少し予約しやすいシステム（キャンセル待ちができたり、スマホで簡単に予約できるなど）を導入したり、市内の小児科や企業と連携して施設数を増やすなどの計画を立ててもらえると有難いです。</p> <p>また、「子どもが風邪をひいているのに仕事に行くなんて」みたいな風潮もまだまだありますので、市からの発信もお願いします。</p>	D	<p>病児・病後児保育事業の利用者は、コロナ禍を除き年々増加傾向にあり、令和5年度実績は延べ232人が利用されました。</p> <p>「かとっこ」の予約は、事前に利用登録届等を提出して登録し、その後に予約等を行っていただきます。こどもの安全確保を第一に優先することが重要であり、病児の細かな様子を電話予約時に直接確認できることで、実際に預かる際の適切な看護や保育が行え、安全が確保できるため、予約は電話による予約方法としています。しかし、利用登録届については、書面のみ提出でしたが、令和6年度からオンラインによる申請も可能といたしました。システム導入については、経費やセキュリティの問題もあるため、現時点での導入は予定していませんが、その効果等を十分に検証する等努めて参ります。</p> <p>また、施設数を増やすことにつきましては、インフルエンザ等の流行性感染症</p>	こども教育課

					<p>が増える時期は、利用希望者が増えることもあります。平日の利用は空きがある日もあるため、小児科不足や昨今の保育士不足による職員確保が難しいこと、アンケート結果より利用ニーズが低いこと等に伴い、施設の新設や定員の拡充は、現時点では予定しておりません。</p> <p>なお、病児・病後児保育事業は、共働きの子育てと就労の両立を支援する重要な事業であるため、今後は、病児・病後児保育事業のことや施設「かとおこ」について、安心して子どもを預けられることなど、市民の皆様に広く周知していくとともに、他市町の実践を参考にし、予約方法の改善や受入体制の拡充など、利用者の皆様が利用しやすくなるよう取り組んで参ります。</p>	
2	P53・61 P66~68 P77~79	<p>No.1-30,2-22,4-23,4-36 ひょうご放課後プラン(地域子ども教室)の推進</p> <p>No.3-20 地域子育て支援拠点の充実</p> <p>No.3-24 情報提供・相談体制づくり</p> <p>No.3-29 SNS等を活用した</p>	<p>加東市内でも無料や、子ども達だけで参加できる体験がいくつもあると思います。ただ、それぞれの施設や担当課がイベントや行事をそれぞれで発信しているため、情報を集めるのが大変です。ましてや民間が行っているものまでとなると、時間の余裕がない家庭は、すぐ近くで子ども達に合ったイベント情報を入手しにくい状況です。</p> <p>例えば、「かとうすくすくダイアリー」は幼児に特化していますが、このように1つのアプリで子ども達に関する情報(イベントに関わらず)がすべて分かるものがあれば、情報弱者と言われる方でもアクセスしやすいので、市や地区、民間の様々な催し(学校行事も)にも参加しやすくなります。</p>	C	<p>子育て世帯が様々な情報を入手できる環境を作ることとはとても大切なことだと考えています。</p> <p>イベント等の情報発信については、ご意見のとおり、担当課から学校・園を通してチラシ等を配布するほか、広報やホームページにその情報を掲載し、ホームページの情報は、LINEで加東市を友達登録されている方に、新着情報が自動的に配信されます。</p> <p>また、「かとうすくすくダイアリー」は、乳幼児期以外の子どもがいる家庭でも登録でき、LINEと同様にホームページの新着情報の受信や、対象年齢を指定した発信も可能です。しかし、ご要望さ</p>	<p>秘書広報課 企画政策課 福祉総務課 健康課 生涯学習課 こども教育課 社会福祉協議会</p>

		<p>子育て情報の提供</p> <p>No.3-30,4-28</p> <p>まちの子育てひろばの 情報提供</p>	<p>アプリをするかどうかは別として、子ども達が世帯の状況になるべく影響されず、様々な体験にアクセスできる環境を作る施策をして頂きたいです。</p>		<p>れているようなこどもに関する全ての情報を収集できるものは、現時点ではございません。</p> <p>総合アプリのような媒体を開発することは、費用的なことや人的的にも難しいですが、これまでから活用していますSNS や市広報紙、市ホームページ、「すくすくダイアリー」などの活用を周知していくとともに、発信方法について関係部署と協議し、情報が収集しやすくなるよう、発信内容の充実を図ってまいります。</p>	
3	P49 P51~53	<p>No.1-06,1-18,1-20 1-26</p> <p>キャリア教育の充実</p>	<p>「かとう夢授業」とても良い取り組みだと思いますが、講演会的なものが多く、一方通行なりやすいので、双方向なやり取りのできる夢授業を増やして頂けたら嬉しいです。</p>	D	<p>かとう夢授業の一般向けの取組に關しましては、より多くの方にご参加いただきたいという思いから講演会という形式で開催いたしました。一般向けの夢授業は今回限りの取組ではございますが、またこのような機会がございましたら、今回いただいたご意見も参考に内容の検討をさせていただきます。</p> <p>学校が実施するかとう夢授業では、全校生を対象とするものは、主に講演会形式となっておりますが、質疑応答の時間も設けています。学年別や部活動など一部の児童生徒を対象にしたものは、実験をしたり、体を動かしたりと、体験できる内容を実施している授業もあり、こどもたちが夢や目標の実現に向かって進んでいく力の育成を図ります。</p>	<p>企画政策課 学校教育課</p>